

学校法人の耐震化率の公表

学校施設は「建築物の耐震改修の促進に関する法律」により、所有者に耐震診断及び耐震改修の努力義務が課せられています。

大学は、学校教育法及び同法施行規則により学生の教育研究活動等についての情報を公開することが求められます。

建物の耐震化率

九州ルーテル学院大学の耐震化率は100%です。(2026年4月1日現在)
2026年度私立学校校舎等実態調査（調査①）に基づき算出しています。

【耐震化率の算出】

(分母)施設の延床面積の合計

(分子)①または②に該当する建物の延床面積の合計

①新築年月日が1981年7月1日以降の建物。

②新築年月日が1981年6月30日以前の建物のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有している。あるいは耐震補強済の建物。

九州ルーテル学院大学

	建物名称	延床面積	新築年月日	分子番号
1	大学1号館	3,321 m ²	1975年2月15日	②
2	大学2号館	2,128 m ²	1986年4月16日	①
3	大学3号館	775m ²	1993年7月31日	①
4	学院会館	1,957 m ²	1993年7月31日	①
5	大学4号館	764m ²	2002年10月8日	①
6	学生ホール棟	560m ²	2005年 3月2日	①
	計	9,505 m ²		

※大学1号館は耐震診断を実施後、耐震改修を実施。Is値 0.7 以上。

計算式

$$\text{耐震化率} = 9,505 \text{ m}^2 / 9,505 \text{ m}^2 \times 100 = 100\%$$